

発行年月日: 30年12月12日

発行責任者: 中土幸男

丸の内病院 連携室だより

No5 特集 産婦人科 ～子宮頸がん検査を受けよう～
産後ケアについて

《産婦人科特集としては、今回が最終号となっております》

～ 掲載内容 ～

- 健康教室が開催されました ～ご報告～
- 年末のご挨拶

ご自由にお持ち帰り
ください



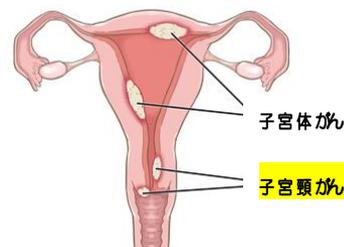
子宮頸がん検査を受けよう！

産婦人科 林 晶子

子宮頸がんとは？

子宮頸部（子宮の入り口付近）にできる悪性疾患です。子宮が存在する限り、どの年代にも発生する可能性があり、最近では、若年者に増えています。

主な原因は、HPV(ヒトパピローマウイルス)*。 **主な症状**は不正性器出血。初期では、特に症状がなく、検診で偶発的に判明することが多く見られます。進行した状況では、子宮摘出など、大掛かりな治療となる可能性があります。早期の場合、子宮頸部円錐切除術（子宮頸部をドーム状に切除する方法）のみで終了することもあります。この場合、子宮は温存できるため、妊娠出産も可能となります。また、異形成（前がん病変）の状態で軽い段階では、通院による経過観察となる場合もあります**。自分の未来のためにも、早期発見が大切です。



*：性交渉で感染しますが、大部分は免疫により排除されます。HPV と関連がないタイプもあります。

**：軽度、中等度、高度に分類され、高度の場合は治療対象となります。

子宮頸がん検査とは？



子宮頸部の細胞を専用器具で採取して行う検査。子宮頸がんの早期発見の入り口となります。異常があれば、精密検査が必要となります。

要精査と連絡がきたら、放置せず、産婦人科を必ず受診しましょう。

産婦人科外来 診療ごあんない



- 完全予約制のため事前に予約をお取りください。

女性常勤医師 3名 男性常勤医師 1名

患者さんの希望に沿って診察ができるよう、予約調整等させていただいておりますのでお気軽にお問い合わせください。

☎ 予約センター（0263）28-3020 平日9：00～17：00 / 土曜9：00～13：00

『産後ケア』について

少子化が続く中で、お子さんが大切に育てられ、
幸せな幼少期を過ごすためには、
お母さんの心の状態が大きく影響すると言われています。
お母さんも赤ちゃんを大切に育てたい気持ちがたくさんあっても、
産後の育児でいっぱいになってしまい、心のバランスを崩し、
家事や育児がままならない事も少なくありません。

産後ケアはお産後の身体が一番疲れている産後一か月以内の
お母さんと赤ちゃんが病院で過ごし、食事の準備や掃除などの
負担を感じることなく、育児に慣れてお家に帰れるシステムです。
当院で出産した方はもちろん、違う病院で出産された方も
受け入れを行っています。



産後ケアはこんな方に
ご利用いただけます

- お母さんに体調不良や育児不安等がある方
- ご家族などから支援が受けられない方

利用できる
サービス

- お母さんの心身の健康管理と生活面の指導
- 乳房管理
- 沐浴や授乳等育児指導

利用できる
期間

出産日から 120 日間（分娩にかかわる入院を除く）とし、
宿泊は 6 泊 7 日間以内、
日帰りは 7 日以内

◇補助金が出る市町村もありますので、お住まいの地域にご相談ください。

《当院で出産予定、または出産された方》

母子医療センター・産科外来助産師にお申込みください。

TEL：0263-28-3003（代表）月～金 9：00～16：00

《他の施設で出産予定、または出産された方》

地域医療連携室にお申し込みください。

TEL：0263-28-3010 月～金 9：00～16：00

出前講座開催のご報告

今年も近隣の地域の方々や公民館のご協力のもと出前講座を開催しました。この出前講座は当院が地域にお住まいの方に対して、病気や疾患の知識の向上や疾患の予防方法、運動などを公民館や福祉ひろばへお邪魔して開催しているものです。



今年は認知症・骨粗鬆症・食事と栄養のお話や自宅で出来るストレッチや運動の講座を行いました。毎回約20～40名ほどご参加いただいています。これからも地域の皆様の健康維持のお手伝い出来るよう、努力していきたいと思っております。

2018



年末のごあいさつ



患者さんをはじめとし、皆様の暖かいご支援により本年も無事に終えることができました。

2019年は年号が変わり、また新たな時代のスタートとなります。地域に寄り添いながらも、一歩先の医療を提供できるよう、スタッフ一同精進してまいります。

来年も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

地域医療連携部 一同